



いのちをまもる
PARTNERS
医療安全全国共同行動

目標

安全な手術-WHO指針の実践

1. 患者と部位を間違えない
2. 疼痛から守り有害事象を防ぐ麻酔方法
3. 気道確保困難を認識して適切に準備
4. 大量出血のリスクを認識して適切に準備
5. アレルギーや薬剤副作用の誘発を避ける
6. 手術部位感染を防ぐ
7. 異物遺残を防ぐ
8. 手術標本の確保と確認
9. コミュニケーションを確実に
10. 手術サーベイランスの確立

